

平成31年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	05	01	104360	芸術文化推進事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興	
	施策	01	芸術文化活動の推進			
目的	市民が身近な場所で気軽に芸術文化に親しむ環境をつくるため、芸術文化活動の場や作品の鑑賞機会を提供するとともに、芸術文化活動に取り組む環境をつくるため、芸術文化活動団体への支援を行う。					
対象	市民					
意図	市民が身近な場所で気軽に芸術文化にふれ親しむことができるように、機会を提供する。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学生のためのアートセミナー事業 64千円 小学生に芸術文化に触れる機会の提供</li> <li>○作品展示用物品購入等 138千円</li> <li>○花巻市芸術協会事業補助金 2,416千円 交付先：花巻市芸術協会（花巻、大迫町、石鳥谷町、東和町芸術文化協会）</li> <li>○花巻市民芸術祭実行委員会負担金 3,888千円 交付先：花巻市民芸術祭実行委員会 内容：展示、舞台、茶道等の芸術文化活動の成果発表</li> <li>○花巻市芸術文化大会等出場補助金 239千円 芸術文化に関する全国大会に出場する市内高等学校生徒等へ補助金を交付</li> </ul>					
市民参加の有無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	アートセミナー開催回数	回	計画	2.00	2.00	
			実績	2.00	2.00	
2	市民芸術祭開催事業数	件	計画	30.00	31.00	
			実績	32.00	31.00	
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	アートセミナー参加者数	人	目標	120.00	120.00	
			実績	222.00	133.00	
2	市民芸術祭参加者数及び入場者数	人	目標	12,000.00	12,000.00	
			実績	13,736.00	14,419.00	
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
芸術文化活動の導入である児童期においては興味を持っている児童は多く、小学生アートセミナーは参加者アンケートでもその満足度は高かった。		
芸術文化活動を行う団体で組織され自主的に実施される市民芸術祭は、その参加状況により市民の芸術文化活動の度合いが推測できる。芸術団体の加盟者のみならず、個人での出品や市内高校の文化部の出品があり、幅広い年代にわたる多くの参加者による芸術祭が実施された。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	子どもたちをはじめとする、市民がゆとりと潤いを実感できる心豊かな生活を実現するためには、行政の関わりは重要である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	身近な場所で気軽に芸術文化にふれることが可能となる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	関係文化団体と連携を図り実施している。また、可能な限り最小限の経費で対応しており、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	全市民を対象とした事業であるので公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	市民の芸術文化活動の充実を図るため、市民芸術祭などによる文化活動の発表の場の提供や、自主的な芸術文化団体の活動へ支援を実施した。芸術団体の加盟者のみならず、個人での出品や市内高校の文化部の出品があり、幅広い年代にわたる多くの参加者による芸術祭が実施された。
	次年度に向けて	芸術文化活動の推進は、すべての市民がゆとりと潤いを実感できる心豊かな生活を実現していく上で引き続き実施が必要である。

平成31年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	10	05	04	104480	芸術文化推進事業費		
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興		
	施策	01	芸術文化活動の推進				
目的	市民に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するため、主催事業を実施する。						
対象	市民						
意図	市民が芸術文化活動へ積極的に参加し、生活の中で芸術文化に接する機会を増やす						
事業概要	文化会館自主事業 22,718千円 ・一般鑑賞事業（4事業5公演） 新型コロナウイルスの影響により1事業1公演を中止とした ・団体鑑賞事業（4事業16公演：小学校低学年、高学年・中学生・高校生）						
市民参画の有無							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	後援・協賛		
				補助・助成	委託		
活動指標			単位	区分	H30	H31	R02
1	一般鑑賞事業公演回数			回	計画	5.00	5.00
					実績	6.00	5.00
2					計画		
					実績		
3					計画		
					実績		
成果指標			単位	区分	H30	H31	R02
1	文化会館一般鑑賞事業に満足・ほぼ満足と回答した市民の割合			%	目標	90.00	90.00
					実績	93.10	77.60
2					目標		
					実績		
3					目標		
					実績		
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
評価としては7割を超える方が満足しているものの、前年度よりもポイントを落としており、昨年度と比較して市民の嗜好に合った自主事業ではなかったと思われる。 また、新型コロナウイルス感染症の影響によりすべての事業を実施することができなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市内には、民間施設での開催事業が少なく、芸術文化振興の拠点施設である文化会館において、市民に芸術鑑賞の機会を提供することができた。
	妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	市民のニーズに沿った魅力ある事業を開催して、新たな鑑賞者の掘り起こしを行い、市民にとってより満足の度合いが高まることが期待できる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	充実した事業を提供するうえで、公演委託料や周知にかかる経費など事業費の削減の余地がない。 人件費においても事業対応者の経費などの見直しを行っており、これ以上の削減余地がない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内全域への事業の周知や、事業鑑賞の機会を提供するため、入場料金並びに鑑賞料金として応分の負担をいただいている。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して、市民の芸術文化活動、余暇活動の充実の一助となった。
	次年度に向けて	自主事業の選定方法について再考の余地がある。

平成31年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	05	04	104490	文化会館施設改修事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興	
	施策	01	芸術文化活動の推進			
目的	利用者の安全確保と、建物の長寿命化を図るため、文化会館施設改修を実施する。					
対象	市民、施設利用者					
意図	市民が芸術文化活動へ積極的に参加し、生活の中で芸術文化に接する機会を増やす					
事業概要	文化会館施設改修事業 105,905千円 ・大ホール舞台機構（反射板）更新 39,960千円 ・大ホール舞台機構（幕）更新 41,140千円 ・会議室上部防水及び大ホール外壁（南、西面）修繕 24,805千円					
市民参画の有無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	整備事業実施件数	件	計画	2.00	3.00	
			実績	3.00	3.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H30	H31	R02
1			目標			
			実績			
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
施設を安全に利用できるようにすることは、施設管理者として当然の行為であり、整備自体が目的であることから、成果指標は設定しない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市民が生涯にわたって芸術文化に接する機会を保つため、文化施設的环境整備は必要である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	老朽化が進んでいることから、市民が安全に安心して使用できるようにするために継続して改修を行っていく必要がある
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	老朽化により大規模改修が必要であるが、予算の都合上、必要最小限の改修を行っている。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市民が芸術文化活動へ積極的に参加できる機環境づくりを行うため、施設の改修を行う必要がある。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	利用者の安全性の向上のため、大ホールの反射板や幕の更新を行ったほか、雨漏りを防ぐため会議室上部の防水や大ホール外壁の修繕を実施した。
	次年度に向けて	建築から40年以上が経過し老朽化が進んでいるため、継続して改修を行っていくことが重要である。

平成31年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	05	10	104620	萬鉄五郎記念美術館企画展示事業費
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興
	施策	01	芸術文化活動の推進		
目的	萬鉄五郎を顕彰するとともに市民の美術に対する関心を高めるため、企画展覧会を開催する。				
対象	市民等				
意図	先人の理解を深めるとともに、芸術文化に関心や親しみを感じる市民を増加させる。				
事業概要	企画展覧会（収藏品展を含む） ・ 萬鉄五郎記念美術館35周年企画 萬鉄五郎と歩んだ35年展 ・ いわむらかずお展 ・ 内村幸助展 ・ 収藏品展 関連事業				
市民参加の有無					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	後援・協賛
		補助・助成	委託		
活動指標		単位	区分	H30	H31
1	実開館日数	日	計画	290.00	300.00
			実績	283.00	264.00
2	企画展覧会の数	回	計画	5.00	5.00
			実績	5.00	5.00
3	関連事業の数	回	計画	5.00	5.00
			実績	9.00	6.00
成果指標		単位	区分	H30	H31
1	入館者数	人	目標	11,000.00	11,000.00
			実績	17,354.00	16,120.00
2	美術に関心を持つ人の割合	%	目標	75.00	75.00
			実績	76.10	78.00
3	関連事業への参加者数	人	目標	250.00	250.00
			実績	304.00	711.00
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
夏に開催された「いわむらかずお展」で来館者が増加し、関連事業も開催されたことから参加者数も増加した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	県内では博物館法該当の美術館は4館しかなく、本格的な美術鑑賞の機会が限定的であることから、市民等に対し身近で安価に美術鑑賞の機会を提供できるものであり、公開関与は妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	他の美術館の展覧会の情報を収集し、話題性の高い展覧会を企画することにより集客力や鑑賞者の満足度が高まり、成果が向上する。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	県内には、当館と同規模の美術館はないが、県外同規模（面積）館の職員数は12名（正職員6、臨時職員6）、事業費は1,500万～1,800万となっており、事業費、人件費とも削減の余地はなく効率的な事業となっている。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	入館料は、「特別展示にかかる特別入館料の基準（平成22年3月市長決裁）」に基づき、重要度、人気度（集客度）、事業費の観点から企画展ごとに設定しており、公平性が確保され適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>「萬鉄五郎と歩んだ35年」では、萬鉄五郎記念美術館が開館からの歩みと萬鉄五郎作品が当館に所蔵された順に年代を追って展示し、美術関係者や愛好家からは評価を得た。</li> <li>いわむらかずお展は、多くの家族連れが訪れ予想を上回る入館実績となり、美術館へ足を運びきっかけとなる展覧会となった。</li> <li>内村幸助展は岩手のデザイン界を代表する人物であり、初の遺作展であったことから多くの美術関係者や愛好家が訪れ、内村の足跡を顕彰することができた。</li> <li>美術に関心を持つ人の割合は、アンケート結果によるものである。</li> <li>関連事業は、参加者数は目標を上回り、美術に関心のある市民の意識の高まりが期待される。</li> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月3日より休館</li> </ul>
	次年度に向けて	今後も・萬鉄五郎・親子向け・岩手の美術家・花巻の美術家を紹介する展示を行い、バランスの取れた展示を目指していく

平成31年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	10	05	10	104630	美術普及活動推進事業費		
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興		
	施策	01	芸術文化活動の推進				
目的	萬鉄五郎の顕彰のための式典を開催するとともに、市民の芸術文化に対する関心や親しみを向上させるため美術活動に取り組む機会を提供する。						
対象	市民等						
意図	郷土の先人の理解を促進・深化させるとともに美術活動に取り組む市民を増加させる。						
事業概要	萬鉄五郎祭実行委員会負担金事業 萬鉄五郎祭実行委員会主催事業 ・萬鉄五郎顕彰式典の開催 5月3日（金・祝日） 顕彰式典、中学生による「鉄人独語」の朗読、献花 児童等写生会及び作品展覧会 ・写生会 4月21日（萬鉄五郎記念美術館周辺）美術愛好家及び美術館学芸員の指導により実施						
市民参画の有無							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	H30	H31	R02
1	萬鉄五郎祭式典の実施			回	計画	1.00	1.00
				実績	1.00	1.00	
2	児童等写生会・作品展覧会の実施			回	計画	1.00	1.00
				実績	1.00	1.00	
3				回	計画		
				実績			
成果指標			単位	区分	H30	H31	R02
1	萬鉄五郎祭式典の参加者数			人	目標	60.00	60.00
				実績	60.00	60.00	
2	児童等写生会の参加者数			人	目標	60.00	60.00
				実績	51.00	67.00	
3				人	目標		
				実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
参加者数は関係者と一般の参加で構成されており、例年通りの実績である。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	郷土の先人を顕彰し、その功績について理解を深めることや、人づくりの一環として児童等が美術活動に対して親しむ機会を提供することは、市として妥当な事業である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	写生会について、幼稚園・保育園、小学校へのより積極的なPRにより成果向上が期待できる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業の実施に必要な最小限の費用負担であり、また職員の関与も技術的な指導・支援にとどめ、いずれも削減の余地がない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	事業の実施に必要な最小限の費用負担であり、また職員の関与も技術的な指導・支援にとどめ、いずれも削減の余地がない。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	写生会の参加者数は天候に左右されるが、今回は晴天だったため昨年に比べ参加者数が増えた。
	次年度に向けて	郷土の先人である萬鉄五郎を顕彰する事業として、継続していくことが重要である。